

## 看護研究に関する説明とお願い

この説明文書は、「内服薬自己管理の開始判断に認知行動関連アセスメントを活用した取り組み」の看護研究について説明したものです。本研究への参加はご自身の自由意思でお決め下さい。また、この説明文書の中で、わからないことやご心配なことなどがありましたら、ご遠慮なくお尋ねください。

### 1. 研究の目的・意義

目的： 本研究は、高次脳機能障害の診断がある高齢患者様に、ご自身の状態にあった内服薬の自己管理方法をご提案し、退院後も確実に薬を服用することを目的とする研究です。

意義： 研究成果を通じて最適な自己管理方法を提示することで、高次脳機能障害の高齢患者様が自宅退院後も内服薬の飲み忘れや落としてしまうなどのトラブル発生が抑えられると考えます。

### 2. 研究方法

- 1) 自己管理開始の前に、スタッフが認知行動関連アセスメントを行います。
- 2) CBA 評価後に看護師間で現在の患者様に合った薬の自己管理方法を検討します。
- 3) 検討した自己管理方法にて患者様は薬を自己管理し、内服します。
- 4) 1～2週間後に内服の状態を確認し必要時、管理方法を再検討します。そして患者様は提案された方法にて自己管理を継続します。
- 5) その後退院までこれを1～2週間間隔にて繰り返し、管理方法や必要な介助を明確にします。
- 6) 看護師のみを対象として研究終了時に CBA の評価に関するアンケートを行います。

### 3. 想定される臨床上の不利益（健康障害等）および対処

通常診療の中で研究を行いますので臨床上的健康障害等の不利益はありませんが、本研究について説明させていただきますので、本研究に参加しない方と比較して時間的束縛が発生します。何らかの苦痛が発生した際には、その時点で説明を中止します。

本研究とは異なり、通常の診療体制の中で自己による薬の服用に何らかの誤りが発生した際には、院内のインシデント/アクシデントの対応マニュアルに準拠して対処します。

### 4. 研究への協力の任意性及び撤回の自由

この研究への協力は自由です。患者様ご自身で研究への参加意思を決定できない場合には、ご家族にご確認させていただきます。本研究への参加同意は、同意書への署名をもつ

て参加といたします。研究への参加をお断りになっても、その後の治療において不利な扱いを受けることはありません。また、一度参加に同意した場合でもいつでも撤回できます。

#### 5. プライバシーの保護について

今回の研究では、通常の入院診療・看護等において発生した医療情報を使用します。CBA の評価結果も同様に電子カルテに保存され使用します。検討結果の記録などの研究に関する情報を別途、電子カルテ以外に記録を残す際には、その資料/データも適切に保管・管理し、研究が終了した段階で破棄します。

第三者への開示としては倫理審査委員会の承認を得た上で学会発表を予定します。その際には個人が特定される情報は加工され、または取り除かれたものを発表します。

なお得た個人情報の目的外利用はありません。

#### 6. 研究終了後の対応・研究成果の公表について

2026年2月に行われる回復期リハビリテーションに関する学会等にて発表させていただきます。

#### 7. 問い合わせ先

何か不明点や疑問点などございましたら、3階病棟・看護師 矢野智恵美までご連絡をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

研究担当者：河北リハビリテーション病院 3階  
看護師：矢野智恵美

連絡方法：下記の電話番号にて、3階病棟・看護師 矢野智恵美までご連絡ください。

河北リハビリテーション病院 電話番号：03-5307-5151